資料2-6

施設入所者数、施設定員数について

１　国の基本指針　（第８期障害福祉計画（令和９～１１年度）における目標値）

令和１１年度末の施設入所者数を、令和７年度末時点の施設入所者数から５％以上削減することを基本とする。

２　入所者数、施設定員数の推移

（１）計画における施設入所者数

	第４期 (H27～H29)	第５期 (H30～R2)	第６期 (R3～R5)	第７期 (R6～R8)	第８期 (R9～R11)
国基本指針	▲4.0% (H25 末～ H29 末の４年間)	▲2.0% (H28 末～ R2 末の４年間)	▲1.6% (R 元末～ R5 末の４年間)	▲5.0% (R4 末～ R8 末の４年間)	▲5.0% (R7 末～ R11 末の４年間)
県計画	▲0.0% (同上)	▲0.0% (同上)	▲0.0% (同上)	▲0.0% (同上)	
県実績	▲2.2% (H25 2,337 人→ H29 2,286 人)	▲2.4% (H28 2,292 人→ R2　2,238 人)	▲1.4% (R1 2,227 人→ R5 2,197 人)	▲3.4% ※ (R4 2,209 人→ R7 2,135 人)	

※ 国基本指針で指定された４年間(R4～R8)のうち３年間（R4～R7）での実績

（２）定員数と入所者数

各年度末の状況　（単位：人）

	第４期		第５期			第６期			第７期		
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
県計画定員数	2,361		2,341			2,339			2,319		
実際の定員数	2,341		2,339		2,334	2,319		2,304	2,299	2,279	
入所者数	2,292	2,286	2,272	2,227	2,238	2,215	2,209	2,197	2,162	2,135	
空き人数	49	55	67	112	96	104	110	107	137	144	

３　入所希望待機者の状況

（単位：人）

		第４期 策定時	第５期 策定時	第６期 策定時	第７期 策定時	第８期 策定時
計画期間中		198	193	190	175	121
	今すぐ	*113*	*137*	*123*	*104*	*73*
	3 年以内	*85*	*56*	*67*	*71*	*48*
時期未定		259	436	310	298	289
合計		457	629	500	473	410

４　現状分析

（１）計画における施設入所者数について

①国基本指針においては、第７期計画における入所者数の削減率は５％以上であり、第６期計画の 1.6%以上から削減率が大幅に増えている。

②県計画においては、第４期から第６期まで削減率は 0%としているが、実際の入所者数は減少している。

（２）定員数と入所者数について

①第４期から第７期のいずれの期間においても、県計画定員数よりも実際の定員数は少なくなっている。

②実際の定員数は減少しているが、入所者数も減少しており、空き人数は増加傾向にある。

（３）入所希望待機者の状況について

①第８期計画期間中の入所希望待機者は 121 人であり、第７期時の 175 人から大きく減少している。

②入所施設に空きがある一方、入所希望待機者もいるというミスマッチが起きているのは、特定の施設に入所希望者が集中しているためである。

〇主な特徴

・恵那地域、飛騨地域の施設は希望者が多い。

・市街地から離れた地域（山県市山間部、大垣市山間部等）の施設は希望者が少ない。

・建物が古い施設は希望者が少ない。身体施設は特に顕著である。

③障がい者のニーズ調査では、重度の障がい者の 43%が３年後に入所施設が必要、52%が親亡き後に必要との回答であった。